

「心と心のハーモニー」



ふれあい
トーク♪

千葉市立越智中学校 主催

特定非営利活動法人
ウィズ エブリワン
<http://www2.nport.ne.jp/we>
理事長 倉田 知典

講演録

目 次

ふれあいトーク表紙	1
目 次	2
発刊にあたって	3
＜「ふれあいトーク」主催学校紹介＞	4
＜講師紹介＞	5
倉田さんとの出会い	6
「心と心のハーモニー」について	7
はじめに	8
「苦手」って何だろう？	9
「ボランティア」では無く・・・	15
「心のハーモニー」とは！	20
「学校」とは・・・	25
質 疑 応 答	26
越智中の生徒さんの感想	28
＜アンケートのお願い＞	33
特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン	34
資料・新聞記事その他	37
編 集 後 記	43
ア ン ケ ー ト	44

発刊にあたって

2002（平成 14）年 9 月 18 日、千葉市立越智中学校の体育館で「ふれあいトーク」が行われました。そこで講師を務めた私達の友人・倉田知典 理事長のトークに、一部加筆・訂正してまとめたものが、この講演録です。

講師歴 13 年のキャリアを有する倉田理事長。ですが、最近、大学等や一般市民向けの講演が多く、中学校に招かれるのは 3 年ぶり。日頃、楽天的な彼もちょっと緊張気味でした。

でも、周りの心配をよそに 3 年のブランクなどものともせず、越智中の生徒の皆さんといっしょに、見事、彼は「心のハーモニー」を奏でたのです。

それは、生徒の皆さんに書いてもらった感想文が証明しています。

「このすばらしい『ふれあいトーク』を是非、記録に残したい」

「倉田理事長の考えや生き方を、世の人たちにもっと知ってもらいたい」

そんな思いを込めて、この講演録を創りました。

ただ、この本はいわゆる「福祉論」を語ったものではありません。「教育論」でもありません。

誰もがお互いに「心の調和（ハーモニー）」を深め合える社会を築くために、様々な人間関係の中で、まず自分は何が出来るか？それを倉田理事長の人生観・社会観を通じて考え、“行動するヒント”にしていきたいのです。

ですから将来、皆さんがくじけた時や落ち込んだ時、そして人とのつき合いで悩んだ時、又は失恋した時（笑）、そんな時にこそ是非、この本を読み返してみてください。

つたない小冊子ですが、ご家族の皆さんとごいっしょに読んでいただけると嬉しいです。

末筆ながら、越智中の先生方に心から感謝申し上げます。先生方のご理解とご協力をいただけたからこそ、この本は出来ました。

とりわけ、本書の編集実務でご協力いただいた清宮紀子校長先生と金澤宏先生。

そして「ふれあいトーク」を企画担当され、この本のために心温まる素敵な一文をお寄せくださった横山由佳子先生。

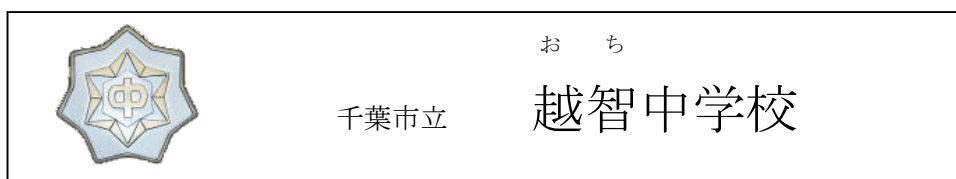
本当にありがとうございました。



2003（平成 15）年 3 月 1 日

特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン

< 「ふれあいトーク」主催学校紹介 >



- 住所 〒267-0055 千葉県千葉市緑区越智町651
- TEL 043-294-0505
- FAX 043-294-8969
- 生徒数 男女計 279名 (平成15年1月22日現在)
- 教職員数 25名
- 沿革 **1984**(昭和59)年4月、千葉市立土気中学校の分離校として、千葉市内**49**番目に開校し、現在に至る。
学区は大木戸小学校、越智小学校。
- 学校教育目標 人間尊重教育を基本理念として、学習指導要領の基本方針「心豊かな人間の育成」及び千葉市教育施策の具体目標「豊かな人間性と生きる力を育てる義務教育の充実」をふまえ、地域の実態を考慮し「友愛と奉仕の心」を育み、また、将来、社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を目指す。
●目標：自ら学び、よりたくましく「生きる力」を身につけた生徒を育成する。
- 校章の由来 **1985**(昭和60)年2月制定、デザインは初代校長・今村誠吾氏。
外側の七角の星形は、北斗七星を意味するもので、無窮の天空を雄大に巡るその様は、広い世界(社会)で力いっぱい活動している生徒たちの将来を、中の星形は巡る北斗七星の中心として北極星を象ったもので、越智中学校を象徴している。
日々、知・徳・体の学習に励み、将来の活動の基礎となる力を十分に身につけ、北極星のように不動の信念を身につけてほしいという願いがこめられている。
- 校訓 自主勉学・協力連帯・積極鍛錬

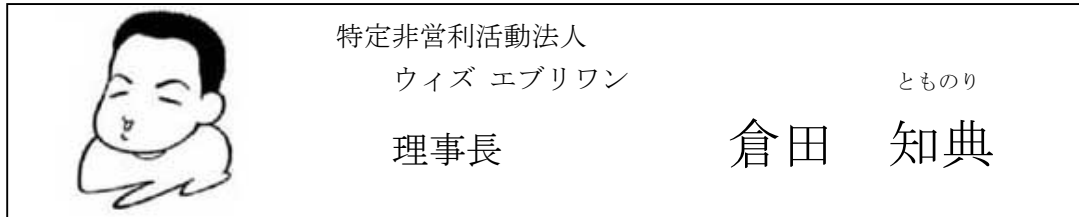
➡ 「ふれあいトーク」とは・・・

障害を持つ方、障害を持たれた方に、直接携わっていらっしゃる方のお話を聞いたり、触れ合うことにより、人として温かい心もち、これからの自分の日常生活の中で、どのように行動していけばよいのか考える手立てとなること

(「ふれあいトーク実施計画」より引用)

このような教育目的をもって外部から講師を招き、講演会形式で全校生徒を対象に毎年実施している越智中独自の取組みです。

< 講師紹介 >



■ 倉田知典 略歴

1970 (昭和 45) 年 3 月 29 日	市原市に生まれる
76 (S 51) 年 4 月	千葉県立袖ヶ浦養護学校・小学部 入学
88 (S 63) 年 3 月	同校 ・高等部 卒業
91 (平成 3) 年 6 月 30 日	市原ウィズ エブリワン (任意団体) 設立 会長に就任
2002 (H 14) 年 8 月 6 日	特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン設立 理事長に就任 (34 ページ参照)

- ▶1988 (昭和 63) 年 コンピュータ グラフィックス 始める。
千葉県市民美術展覧会で市議会議長賞。他展覧会にて受賞・入選 多数。
- ▶1989 (平成元) 年 講師活動を始める。
福祉・医療関係の専門職員・大学生・高校生・中学生・市民等を対象に行う。(35 ページ参照)
- ▶1998 (平成 10) 年 千葉県生涯学習指導者となる。市原市教育委員会より推薦。
- ▶1998 (平成 10) 年 市原よみうり (読売新聞折込紙 市原市内版) にて
「ともりの Talk」記事連載 (1998. 11. 8~2002. 10. 6 号・38 ページ参照)
- ▶2000 (平成 12) 年 千葉県身体障害者相談員となる。知事委託。

倉田知典 連絡先

E-MAIL chouwa@mail.goo.ne.jp
WEB <http://www.skz.or.jp/taiwa>



8ヶ月の未熟児で生まれたため、
全面介添えを要する肢体不自由
となり、9歳まで寝たきりの生活
を送る。

- ⇐ 生後間もない乳児の倉田理事長。
1970年ごろ、自宅にて。

なぜ、「ふれあいトーク」の講師に倉田理事長が招かれたのでしょうか？
越智中と倉田理事長の馴れ初めを、担当された先生に綴って頂きました。
「ふれあいトーク」の知られざる舞台裏をご紹介します。

倉田さんとの出会い

「ふれあいトーク」企画担当
横山 由佳子 先生

今年度も「ふれあいトーク」の担当になったので、今年は早めに講師の方を決めなくてはと思っていた時、4月6日（土）に新聞の折り込みの中に入っていた“外房北エリア版4月6日号シティライフ”の倉田さんの記事を読んだのです。『障害者』ではなく『障碍者』を用いる。【害】は人を害するけれど、【碍】はさまたげにはなるが害にはならないと主張していました。

普通に話をしている、いつのまにか話をしていた人が倉田さんに悩みを相談していた自分に気づくという『倉田マジック』。「身体が不自由なことは障碍であるけれども共通な話題があればお互いの心の壁もなくなっていくでしょう。」という心のバリアフリーから心のハーモニーへ。そして障碍者の立場から世の中にああしてくれ、こうしてくれという要望を出しているのではなく、健常者・障碍者という枠を取り払った一人の人間として接する方法で活動しているという記事を読み、今年「ふれあいトーク」にお招きするのはこの方しかいない、倉田さんしかいないと思いました。その記事(シティライフ)ごともっていましたので教頭先生にすぐに見ていただき、この方を講師として呼びたいという事をお話しました。シティライフで倉田さんの記事を見つけたときから、もうすでに倉田さんと縁があったんだなあと思いました。

倉田さんとお会いすると、身体の自由がなかなかかきかないというだけであって、お話をしていると一本筋の通ったとても賢い方という印象を持ちました。足の指がまるで手のように器用で、コンピュータを扱い倉田さんが作られたコンピュータ・グラフィックスの絵が大きく壁に飾られていました。エブリワンを設立される以前から苦しいこと・辛いことを体験されてきているからこそこんな風に人に温かさを感じさせることができるのだろうとお話を聞いて感じました。自分自身を振り返ってみると、心の狭い自分をすごく情けなく思いました。人脈も大変多く、様々な分野の内容をたいへんよく知っていらっしゃいました。倉田さんとお話をしていると障害という字がどこかに飛んでいってしまい、物事の考え方等私達と何も変わらないことに気がつきました。むしろ倉田さんのほうが私なんかよりも立派に生きているという気持ちが渦巻いてきて「ふれあいトーク」の時にこの気持ちを子供たちが感じ取ってくれたら今回は良いのではないだろうかという気がしてきたのです。今まで聴覚障害・視覚障害という1つ1つの障害を取り上げてふれあいトークを行ってきましたが、今回は越智中の子供たちを倉田さんによって『倉田マジック』にかけてもらいたいと思いました。1つ1つの障害にこだわって順番通りに行わなければならない自分の気持ちがなくなり、私の方が倉田さんにお会いして『倉田マジック』にかかっていたのかもしれません。

千葉市立越智中学校主催企画「ふれあいトーク」

テーマ

「心と心のハーモニー」について

- 講師 特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン
理事長 倉田 知典
- 時 2002（平成14）年9月18日
- 所 越智中学校 体育館

☆「障害（しょうがい）」という言葉（字）について

「障害物」は「邪魔な物」という意味です。
では「障害者」は「邪魔な者（人）」なのでしょうか？
「障害者」と呼ばれる人の立場になって考えてみましょう。
良い気分には決してなれないはずです。
そこで、ウィズ エブリワンでは、「他人を害する」という意味の「害」ではなく、「本人にとっての妨げ」という意味の「碍」を皆さんにおすすめしています。この講演録でも「碍」を使わせて頂きます。
詳しくはウィズ エブリワンのホームページをご覧ください。（36 ページ参照）

はじめに

倉田 || はい、こんにちは。

会場 || こんにちは。

倉田 || はじめまして。今、校長先生からご紹介いただいた倉田知典です。
 || 僕は、年に何回か講演活動をさせていただいてるんですけど、中学校は久しぶりです。3年ぶりくらいで（中学校に）来ました。
 || 福祉関係の職員さんですとか、そういう人たちを主な対象にしてきたんで、久しぶりに中学生の皆さんが対象になるということで、3年前のことを思い出しながら何を話そうかと今日、朝から悩んでここにきました。

|| え～、ペラペラと僕が一方的に話すのは好きじゃないですし（笑）、せっかくの「ふれあいトーク」ということですから、皆さんと対話しながら進めさせて頂きたいと思います。

|| あの～、皆の中には、人前で話すのが苦手な人がいると思います。ちょっと恥ずかしかったら「ごめんなさい」と謝って下されば、話さなくても結構です。



「皆と同じ目線でふれあいたい」
 そう言って倉田理事長は、あえて演壇に
 あがらなかった。
 全校生徒が、彼を「コ」の字に取り巻いて、
 「ふれあいトーク」は始まった。
 写真ではマイクスタンドが立っているが、
 実際にはコードレスマイクを装着して
 使用。

← 2002年9月18日・越智中体育館で。
 全校生徒、教職員、父兄を含め
 300人以上の聴衆を前に話す
 倉田理事長。

「苦手」って何だろう？

- 倉田 || 今、僕は（養護学校の）中学の時の思い出してたんですけど、中学校って、だいたい5教科を中心に（勉強を）やっていますよね。じゃあね、ちょっとお聞きします。
- || まず、国語が好きな人、手エ挙げてもらえます？国語。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || あっ、結構少ないですね（笑）じゃ、数学好きな人。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || あっ、数学多いね。じゃ、次に理科が好きな人。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || はい。じゃ、次に社会が好きな人。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || はい。英語が好きな人。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || あっ。社会と理科あたりが結構多かったかな。じゃ、今度は逆に苦手な教科を質問します。国語が苦手な人、手エ挙げて下さい。
- 会場 || （挙手）
- 倉田 || おっ。結構多い。続いて数学嫌いな人、手エ挙げて下さい。



- 会場 || (挙手)
- 倉田 || あっ、数学も多いなあ。続いて理科が嫌いな人、手エ挙げて下さい。
- 会場 || (挙手)
- 倉田 || はい。じゃ、社会が嫌いな人、手エ挙げて下さい。社会苦手な人。
- 会場 || (挙手)
- 倉田 || はい。続いて英語苦手な人。
- 会場 || (挙手)
- 倉田 || じゃあ、国語が嫌いな人が一番多かったみたいなんで、なぜ、国語が嫌いなのか、苦手なのかっていうことを発表してもらえますか？
|| 発表できる人、手エ挙げて下さい。
- 会場 ||。
- 倉田 || 恥ずかしくて、答えられないのかな？
- 会場 ||。
- 倉田 || じゃあ、そうですね。ここにいる先生方、手エ挙げてもらえますか。
|| 先生方、お願いします。僕、どなたが先生なのかわからないんです。
|| あっ、じゃあ、先生方一斉に立っていただけますか。
- 会場 || (先生方、起立)
- 倉田 || 皆、拍手して。拍手。
- 会場 || (拍手・笑)
- 倉田 || じゃあ、先生方に質問します。中学のとき、国語が苦手だった、あるいは嫌いだった先生、います？
- 会場 || (苦手な先生、挙手／爆笑)
- 倉田 || えっ？ (笑)
|| 国語の先生なのに国語が苦手？ (笑)



会場 || (大爆笑)

倉田 || 違いました〜。(笑)……。次に数学の嫌いな先生は？

会場 || (苦手な先生、挙手／爆笑)

倉田 || (笑) はい、英語が嫌いな先生は？

会場 || (苦手な先生、挙手／大爆笑・拍手の嵐)

倉田 || え〜、続いて理科が嫌いだった先生。

会場 || (苦手な先生、挙手／爆笑)

倉田 || え〜、あれ？いくつ言いましたっけ？まあ、いいや。(笑)
あの、男の一番身長の高いA先生、盛り上がってましたね。

会場 || (爆笑)

倉田 || はい、皆さん、拍手。

会場 || (拍手／爆笑)

倉田 || ちなみに (A先生が) 今、担当して教えてらっしゃる科目は何ですか？

A先生 || 私は数学です。

倉田 || 数学。で、何が得意じゃなかったんです？

A先生 || 英語です。

倉田 || 英語、何で嫌いだったんですか？

A先生 || え〜と、文法の勉強ですね。文法の勉強をするっていうのがどうしても……。
|| はい。

倉田 || 文法ですか。はい、ありがとうございました。
|| B先生もなんか手エ挙げてましたね。何で苦手だったんですか？

会場 || (笑)



B先生 || あのですね、国語が苦手なんですけど、漢字を書くとか、文法とかは点数取れた
|| んですよ、暗記すればいいから。

会場 || (笑)

B先生 || ところが、読書は中学時代から全然嫌いでした、文章の読解力っていうのがな
|| かったんですね。それを大学に行って（本を）乱読するようになってからわか
|| りました。中学生の時は苦手だったと思います。本を読まなかったから、文章
|| 題が出るとどう対処したらいいのかわからなかったのが苦手だったと思いま
|| す。

倉田 || ありがとうございます。
|| 皆、それぞれ得意な分野、苦手な分野ありますよね。
|| 僕の苦手な分野は「手が使えない」ってことです。

|| 「手が使えない」ってことはどういうことが発生するかっていうと、さっき校
|| 長先生からお話いただいたとおり、食事もできません。トイレもできません。
|| 着替えもできません。

|| で、僕の（養護学校の）中学のときの苦手だった教科は「社会」でした。
|| 歴史を覚えるのが大嫌いでした。いつも赤点ばかり取ってました。
|| 中間・期末テストで20点、30点ばかりでした。

|| 得意な分野より苦手な分野のほうが多かったです。
|| そういう苦手な分野・嫌いな分野、これはもうしょうがないって思っていました。
|| 開き直ってました。

|| で、僕は9歳の時にリハビリのおかげで、やっと歩くことが出来ました。
|| 今はこうやって車椅子に乗ってますけど、少し歩けるんです。

|| ず〜っと小学校から高校まで養護学校でした。僕のような障害を持った人が通
|| う学校ですけど、そこへ通ってました。

|| 僕には1歳年上の兄貴がいます。兄貴は皆と同じように普通の小学校、中学校、
|| 高校行って、今はサラリーマンやってまして普通の生活を送ってます。



倉田 || で、兄貴は野球少年だったんで、中学・高校になると練習とかあって夜遅く帰
 || ってくるんですね。だから、兄貴とは夜しか会えなかったです。
 || でも、兄貴は野球の練習で疲れ切っていたんですけど、毎日毎日僕をお風呂に
 || 入れてくれました。

||
 || お互い1つしか歳が離れてないんで、まあ、お年頃ですから異性の話とか野球
 || の話とかいろんな話をしてくれました。
 || で、そういう話を聞く度に「うらやましいなあ」と僕は思っていました。

||
 || とりわけ、「友達」が欲しかったんですよ。
 || 僕は家から遠い養護学校に通ってましたから、地域に友達がいなかった。
 || 兄貴からいろんな話を聞かされて「ああ、地域に友達がいたらいいな」なんて
 || 思ってたんですけど、学校に通うのが精一杯だったっていうのが正直なところ
 || でした。

||
 || で、(養護学校の) 高校を卒業する時に、いよいよ進路を考えなければいけな
 || い。僕は(養護学校の) 中学の時から、ちょっとずつパソコンをやってたんで、
 || それを活かせる仕事をしたかったんです。そういうパソコンを活かせる、障碍
 || を持った人の為の職場もあったんですけど、そこでは食事とお風呂、トイレと
 || 着替えの4つは自分で出来ないといけないって条件があったんで入れません
 || でした。僕はそういうことは介添えの人が居ないと出来ないんで。



少年の頃、倉田理事長の夢は「歩くこと」
 だった。歩行器で歩く彼は、転倒した時
 のために専用のヘルメットを頭に付け
 ていたが、何十針も縫う大怪我を幾度も
 経験した。

⇨ 1979年頃、養護学校にて
 先生・同級生に見守られて
 楽しみながら歩行のリハビリ。

倉田 || で、(養護学校は卒業したけれど、進路が決まらないまま) 家に帰りました。
 || 結局。
 || 地域に友達がいなかったんで・・・やっぱりつらいですね。
 || 「友達がいない」 って、すごくつらいですね。
 || まあ、五体満足だったら、いろんな人達と出会えてたと思うんですけど、卒業
 || 後は「ひきこもり」みたいな状態だったんです。
 ||
 || 仕事も出来ない体なんで・・・、それに友達もいない、行く所も無い。さて、
 || 今日はどう過ごそうか、明日はどう過ごそうか、半年ぐらい悩みました。
 ||
 || でも、「悩んでいるだけでは何の進歩もなければ、楽しいことも得られない」
 || って自分の心の中で気付かされたんです。18歳の時です。
 ||
 || どうにかして、地域(の人達)との交流をしたい。
 || ただ、それだけの一心で、いろいろな福祉関係の所に顔を出しました。
 || 「当たって砕けろ」 って感じで顔を出しました。
 ||
 || で、当時若い「ボランティア」サークルが地元にありまして、高校生・大学生・
 || 社会人といった、ちょうど僕と同じような年代の人達が集まるサークルに入れ
 || させてもらいました。



手が不自由な倉田理事長は、足でパソコンを操作し、コンピュータグラフィックス(CG)を描く。

障害を口実に次々と夢が打ち砕かれる中、彼が情熱を込めて打ち込んだCG。人生の「壁」に行く手をさえぎられる度に、彼の創作意欲はかきたてられた。

← 「想い」2000年作
 千葉市美術展覧会 入選作品

「ボランティア」では無く・・・

- 倉田 Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ
 で、皆さんに質問します。(生徒さんが) 恥ずかしくて答えられなかったら、先生に答えてもらいますんで、先生方よろしくお願いします。それでは質問します。皆さん、最近「ボランティア」って言葉聞きますよね。「ボランティア」って何でしょう？誰か答えられます？
- 会場 Ⅱ
 ・・・・・・・・・・。
- 倉田 Ⅱ Ⅱ
 まあ、大勢の前なので、生徒の皆さん答えづらいと思うんですけど。せっかくだから、答えてください。恥ずかしい？
- 会場 Ⅱ
 (挙手)
- 倉田 Ⅱ
 はい、答えてもらえます？
- 生徒C君 Ⅱ
 ×●◎÷△■×□・・・(聴取不能)
- 倉田 Ⅱ
 はい？もっと大きい声で。(笑)
- 生徒C君 Ⅱ
 困っている人にお手伝いをしたりすること。
- 倉田 Ⅱ
 はい。他に。「ボランティア」って何だろう？
- 会場 Ⅱ
 ・・・・・・・・・・。
- 倉田 Ⅱ
 じゃあ、先生方に質問します。D先生、「ボランティア」って何ですか？
- 会場 Ⅱ
 (笑)



- D先生 || 自分の出来る範囲で奉仕活動をする事。
- 倉田 || はい。あの、実は事前に聞いちゃったんですけど、人気のある先生がいらっしゃいますよね。E先生、いらっしゃいます？
- 会場 || (笑・拍手)
- F先生 || E先生は急遽、出張になってしまったのでいらっしゃいません。
- 会場 || (爆笑)
- 倉田 || じゃあ、F先生お願いします。
- F先生 || え〜と、改めて「ボランティア」って何ですか？って聞かれると「えっ？」って正直なところ、言葉が見つからないというか、困っているところですが。さっきのC君とかD先生の話聞いて「あ、なるほど」と思っていたクチなので、ちょっとまとまらないかもしれませんが。
- ||
- || やっぱり、自分の出来る範囲で、もしかしたら、こうやったら（困っている人が）助かるのかなっていうことに気が付いて、それを少しでも実行するっていうか、形に表して行動すること。
- ||
- || それが「ボランティア」なのかなあって、今考えました。
- 倉田 || はい、ありがとうございます。
- || F先生は「ボランティア」ってやってらっしゃるんですか？



F先生 || あの～、毎日が「ボランティア」のつもりではいます。

会場 || (笑)

F先生 || ……が、「特に」って言われると、それこそ小学校の時、老人ホームに友達
|| 4, 5人と行って、音楽がすきだったので、劇をやったり、音楽をやったって
|| いうのが、私にとっては一大イベントの「ボランティア」。今まで生きてきた
|| 中での「ボランティア」だったかなと思うんですが。

|| 本当は、そういう大きなことじゃなくても、毎日毎日の生活の中でそういうこ
|| とをたくさん出来たらいいなあと思っています。
|| すいません、まとまらなくて。どうもありがとうございました。

倉田 || はい、どうも。あの、「ボランティア」っていうのは、一言でいうと、「(無償
|| の) 他人援助と自己実現」なんです。

|| 他人を助ける中で、自己実現、つまり自分の願いも果たしていこうっていうの
|| が「ボランティア」なんです。

|| でも、一般的には「手助け」って考え方が多いですよ。

|| で、僕は「ボランティア」サークルの中に入って活動させてもらったんですけ
|| ど、「ボランティア」に対して) 疑問を持つことになってきました。

|| 当時は年数回、障碍を持った人と「ボランティア (健常の人)」との交流会を
|| してました。大勢でね。電車でどこかに行ったり、クリスマス会をやったり、
|| そういうことをしていました。

|| で、その場では皆で盛り上がるんですね。でも、その後、個人的に何人かと仲
|| 良くなって、どこかに食事に行こうか～とか、遊びに行こうか、ディズニーラ
|| ンド行こうとか、そういった付き合いにまで発展ができなかったんですね。

|| 僕は18～20歳の青春真っ盛りの時に、個人的な仲間との遊びや本音の語り合
|| いが出来なかったのが、すごく辛かったんですよ。

|| で、「ボランティア」の人にいろいろ聞いてみると、『ボランティア』はその
|| 場だけのお付き合いだよ』っていう考え方なんです。

|| つまり、その場限りの手助け。せつかく人と人が出会うのに、心の触れ合いが
|| その場限りだけの浅い関係で良いと思いついてる。

|| また、その意識は今も昔も変わりはありません。寂しいですね。

|| それで僕は「ボランティア」に不信感を持ち始めたんですよ。



倉田 || 「このままでは良くない」ってことで障碍とか、健常とか、「ボランティア」
 || とか関係なく心対等に、皆が定期的に来ることを大切にしながら個人的な付
 || き合いも深めて、交流を広げる場を作ろうと思いました。
 || (「ボランティア」の中の) 何人かとお話する中で、「私も友達が欲しかった
 || んだ。『ボランティア』と障碍者っていう、その場だけの付き合いって寂しい
 || よね」って言ってくれる健常の人がいたんですね。それで障碍者と健常者が集
 || まって出来たのが、さっき校長先生からご紹介頂いた「ウィズ エブリワン」
 || だったんです。
 ||
 || 「ウィズ エブリワン」は、11年間続けて来て、毎月1回 定例会を行い、個人
 || レベルの付き合いも盛んになって来てます。
 ||
 || 皆でキャンプに行ったり、ご飯食べたり、宿泊旅行に行ったり、そういうこと
 || をやっています。
 || あと、福祉などにも取り組んでいて、例えば、JR 駅にエレベータを付けて下
 || さい、って関係ある方をお願いしたり、皆がより良い生活が出来るように、色
 || んな活動もやってます。
 || で、僕たちの活動には中学生も参加しています。



▲ウィズ エブリワン発足時の友人たちと。中央の車イスが倉田理事長。(1992年、葛西臨海公園にて)

倉田 || 皆の中に、将来「福祉」に進みたい人、又は関心がある人います？
|| いたら手エ挙げてもらえます？

会場 ||

倉田 || まだ、(自分の将来の進路とか) わかっていないのかな？ (笑)

||
|| よく、「ボランティア」とか「福祉」というのは「手助け」ってことになっ
|| てますけど、実は皆の毎日の日常生活が「ボランティア」であり、「福祉」な
|| んですよ。

|| 例えば、友達3人でディズニーシーに行くとしましょう。

|| 「じゃあ、今日 11 時に蘇我駅集合ね」ってことで、それぞれ皆で自然に連絡
|| し合う。これも1つの「ボランティア」です。

|| これは「ボランティア」として成り立ってますけど、普通「ボランティア」と
|| は言いませんねえ。

|| 「友達と遊びに行く」ということですよね。

|| 「障害を持っている人や、お年寄と触れ合う」

|| だけど、それは「ボランティア」と言われます。

|| でも、僕は人と人が触れ合う中で「ボランティア」って言葉は、いらな
|| います。同じ人間じゃないですか。

|| 誰もが仲間や友達になって、いつまでも心から触れ合えると良いなと思
|| います。

|| あと福祉は「幸せ」という意味があります。人は皆、幸せになりたいと願
|| ってますから、そう考えると普通のことなんですよねー。



親友との出会い。

お金や「ボランティア」では決して
得られない友情。

← 1996年、親友の和泉さんと。

イジメられているわけではありません (爆笑)。

「心のハーモニー」とは！

- 倉田 || 僕の苦手なことは「手が使えない」ことです。「自力移動」も出来ません。
 || 学生だった時は、社会が苦手、国語も苦手、英語も苦手。
 || とにかく、勉強は嫌いでした。
 ||
 || じゃあ、僕には何があるんだろう？
 || 僕はしゃべることが出来ます。聞くことが出来ます。目が見えます。
 || 他人の意見や悩みを聞くことが出来ます。
 || 皆さんも自分の中で何が出来るか、挙げてみて下さい。
 ||
 || 人間は生きてると悩みや苦しみがあると思います。
 || 僕にもある面「障害があるための悩み」があります。
 || でも、皆さんにも、それぞれ持っている悩みや苦しみがありますよね。
 || 人は皆、「悩みの質」はそれぞれ個人で違いますが、「悩みの量」は同じだと思います。
 ||
 || 例えば、「今日、なんか体の調子が悪いから学校行きたくねえよ」
 || これって悩みですよね。
 || 「今日はテストがある。苦手なテストだよな」
 || これも悩みですよね。
 || 人間関係で「はあ、あの人となんか会いたくないな」
 || これも悩みですよね。
 ||
 || 皆、それぞれ「悩み」を抱えています。「苦しいな」って思うことがあります。
 || 「やだな」って思うこともいっぱいあります。僕にもあります。
 ||
 || では、ここでもう一度先生方に質問します。先生方、手を挙げていただけますか？
- 会場 || (先生方・挙手)
- 倉田 || え～、では、黄色の上着を着ているG先生。はい。

- 倉田 || あの、失礼なことをお聞きするかもしれないんですけど。
|| 御家族は何人いらっしゃいます？
- G先生 || 人間が2人と犬が1匹です。
- 倉田 || えっ？人間が2人？
- G先生 || 私と夫です。
- 倉田 || じゃあ、G先生は旦那さんに「おはよう」とか「ただいま」って挨拶されてますか？
||
- G先生 || はい、言ってます。
- 倉田 || じゃ、旦那さんと喧嘩されたことあると思いますけど、その時は結構、会話は無いですか？
||
- G先生 || ○△□◎▲◆×÷+・・・(聴取不能)
- 倉田 || え？「蹴ります」？ 怖いですね。G先生は旦那さんを「蹴る」んですよね？
- G先生 || あ、いえ、(会話が)「減ります」。
- 倉田 || あっ「減ります」！ ごめんなさい。(笑)
- 会場 || (爆笑)
- 倉田 || 聞き間違えました。ごめんなさい。やっぱり、喧嘩した時って
|| 「いやだな」って思いますよね。
- G先生 || はい。
- 倉田 || あ、G先生、ありがとうございました。どうぞお座り下さい。
||
|| で、僕も今、両親と暮らしてます。まあ、一緒に住んでれば喧嘩もしますよね。
|| その時って、お互いの心の中に「壁」が出来ますよね。皆も家に帰れば、お父
|| さん、お母さん又は兄弟(姉妹)と喧嘩しますよね 「やだな」って思います
|| よね。「苦手だな」って思いますよね。でも、よく考えてみると、お互いに「悪
|| い所」がありますよね。つまり、そういう喧嘩とかトラブルが発生する時は、
|| 結局、「お互い様」なんです。相手も悪いけど、自分も悪い。一方の側だけが
|| 悪いなんてことは、あり得ないんです。

倉田

（生徒の）皆さんは自分の心の嫌いな所ってありますよね。つまり、自分の欠点や相手への苦手意識ということ・・・、中学生にもなればわかりますよね。それで自分の欠点などを相手から言われたら、そりゃ嫌なもんだよねー。またあの人とは触れたくないと思う時もあるでしょう。

相手の欠点が見える時、自分の欠点はタナに上げて、心の中で相手に不平・不満を思うこともあります。文句を言うってしまう場合もありますね。また苦手な人も避けたくくなりますね。

でも自分の心をよく見つめて行くと、自分にも似たような同じ欠点があるってことに気付くはずですよ。だから一方的に気持ちの中で相手に不満を持ったり、しゃべったりは出来ないですよ。

相手に不満を持つよりも、まず皆が自分自身の心の欠点を直す努力をすることが大切です。

時には自分で気付かない欠点もあります。そういう欠点を相手が教えてくれたら、怒らずに、1つの意見としてしっかり感謝して受け止める。そして自分の欠点を直す努力をする。

逆に、相手が気付かないところを、自分が意見として伝える時も場合によってはあるかもしれません。

そんな時、まずは「自分も欠点が沢山ある、同じ人間」だってことを素直に認める。で、腹をたてずに、1つの意見として自分の想いを心から優しく相手に伝える。「いっしょに欠点を直すように頑張ろうヨ！」って笑顔でね。

でも、もし相手が自分の意見をどうしても全く聞いてくれなかったら、相手を責めたり、怒ったりせずに、「人の振り見て我が振り直せ」と思えばいいんです。そういうことも大切です。

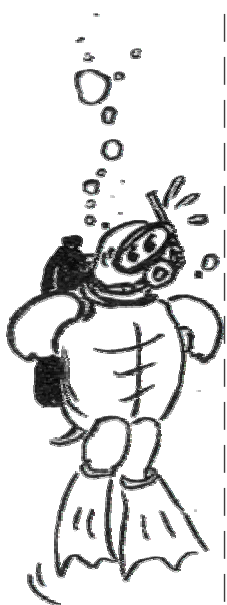
全ては自分の心がけ次第で人付き合いが変わります。

「相手でなく、自分の心を変える」。それが人付き合いを良くするきっかけになるんですね。

こうやって話してる僕自身も、自分の欠点を直さないといけないって改めて思います。僕も人間だからなかなか欠点は直せないんですけど、直す努力をこれからもしていきたいですね。その上で、相手の欠点にこだわるんじゃなくて、お互いに相手の良いところを心で沢山気付き合っ、見ていくことが大切です。

また、積極的に自分から笑顔で相手に話しかける。そして心でお互いを尊重し合う。

そうすれば、相手の欠点や苦手意識から自分の心が解放されて、誰とでも心から仲良くしていけるきっかけが生まれると思います。



倉田

どうして、人には欠点があったり相手に苦手意識を持ってしまうのか？

人はそれぞれ生まれ育って生きてきた「環境」が違うからなんです。

「環境」によって考え方も異なります。

「人は、それぞれ皆、考え方が違う」というのが本来の姿です。それが当たり前なんだと思うことが、まずは大事なんです。

でも、似た考え方の人とは仲良く出来るけど、全く違う考えの人と話すのはとても疲れる場合もあります。

その時、「あの人と話すだけだから触れたくない」と思うか。

それとも、「あの人にも良いところがあるんだから、その良い部分をたくさん見つけよう。だから自分からすすんで笑顔で話そう」と思うか。

それによって自分自身の心の器が変わってきます。

僕は相手の良いところを見て、自分から話すことが大切だと考えます。たとえ、最初は嫌な顔をされたり嫌われたとしても、いつも礼儀正しく、感謝の気持ちで接していけば、仲良くなれることも多いと思います。

人と会った時「こんにちは」って一言、必ず挨拶してみる。

そのように足元からしっかり始めるんです。そして続けるんです。

たとえ、仲良くなれなかったとしても、相手から教わることは沢山あるんです。それに気付けた時、また1つ自分の心の器が広がる。

将来の自分の役に立つ第一歩です。

もちろん、最初は仲良くなれなくても何時か仲良くなれた時、それはステキなことだし、人として生きる上で最高の心の宝です。

「障碍と健常」や、「性別、年齢、肩書き、学歴、国籍」とか。そういうもので、私達は普段、心の中で人を区別することも多々あります。

「心の区別（壁）」をつくっています。

でも、自分の中で「心の区別」を無くせば、「誰もが心対等で良い個性を持った人」なんだと、自然にわかりあえるんですよ。そうすれば、もっと沢山のひとと、心で仲良くなっていけると思います。これが最も大切です。

また、生きてると辛いことや嬉しいことも多々あります。僕も色々辛いことや嬉しいことがありました。「人生は必ず変化するもの」なんです。

(生徒の) 皆さんも小学生の時と中学生の今を比べてみると、自分の考え方とか友達との関係や付き合い方が変わったでしょう。

それは、いろんな人に出会ったり環境が変わることで、嫌なこともあるけど、楽しいことや嬉しいこと、新たな発見や経験をするからなんです。

これから高校生、そして大人になる皆さんには様々な「変化」が待っています。



倉田 || (養護学校の) 中学の時に友達もあまりいなかった僕が、おかげさまで多くの
 || 皆に支えられ、今ではウィズ エブリワンの理事長をさせて頂いています。
 || 大人になったら自分がこういう環境になるなんて、学生の頃は夢にも思わなかつ
 || ったですよ。「変化」を改めて感じます。
 || 皆さんに心から感謝しています。

||
 || 人生皆、毎日、常に「変化」していくので1時間先のこと、明日のことは誰に
 || もわかりません。
 || だから自分を支えてくださっている皆に心から感謝して、「今」を精一杯大切
 || に生きていく。これが大事です。
 || 今を大切に出来れば未来も大切に出来る。「イキイキ」とした心豊かな人生を
 || 送れるでしょう。
 || 今を大切にするためにも、皆を大事にして、もっと感謝の出来る自分になりた
 || い。そう心から思っています。

||
 || 僕には出来ないことが沢山あります。自分で出来ないことは皆さんに支えて頂
 || いています。でも、僕には出来ることも沢山あります。だから、出来ることか
 || らありがたく始めてます。
 || 「もっとたくさんの皆さんの心が笑顔になれるように、今、自分に出来ること
 || って何だろう」と僕はいつも考えています。というより、出来ることから行動
 || する。「まずは行動して、考えて、また行動する」。それを僕は大切にしていま
 || す。

||
 || 自分の幸せの為に努力するんじゃなくて、相手や皆の幸せのために、心からい
 || ろいろと努力する。そのことによって本当に自分も皆も幸せになれる。という
 || ふうに、僕はこの 32 年間の人生でそう思いました。やっぱり、人は支え合っ
 || て生きてる訳ですから、自分一人では絶対に生きて行けません。
 || (生徒の) 皆が、こうやって学校に来られるのも、ご家族や先生の協力を得て
 || 初めて出来るんですから。



「学校」とは・・・

倉田 || 最後ですね、学校は「学ぶ所」です。
 || じゃあ、なぜ自分は学ぶんだろう？
 || 自分の日常生活に生かすために学ぶんです。学校で学んだことからヒントを得て日常生活に生かす。
 ||
 || 僕は（養護）学校で5教科を学んで、今何を生かしてるかということ、国語が講演活動。算数だったら足し算・引き算で買い物。
 || まあ、初歩的な知識があれば、ある程度生活に生かされるわけです。
 ||
 || （生徒の）皆さん、学校で学んだことを「自分の個性を生かす手段」にして下さい。
 || でも、学校が全てじゃないんです。
 || 本来は「私生活が全て」です。
 || 学校は（自分の私生活を充実させるための）手段の場。
 ||
 || 僕も今日は（生徒の）皆さんと出会うことで学ぶ、そのためにここに来ました。
 || この講演をしに、ここに来た最大の目的は、これからの自分の私生活、そして活動に生かしていくためです。
 || 先生方や（生徒の）皆さんから、今日は僕が一番学ばせていただきました。
 ||
 || 中学生の皆は、これからですね。
 || 皆さん、多くの方が心から笑顔になれるように、自分の出来ることを生かして頑張ってください。夢はたくさん持って歩んでください。
 ||
 || ちょっと長くなりましたが、以上で終わりにします。
 || ありがとうございました。

会場 || （拍手）

=====講演終了=====



質 疑 応 答

- 司会生徒Hさん || せっかくの会なので、倉田さんに質問のある人はいますか？
- Q 1. 生徒 I さん || 今までで、一番楽しかったことはなんですか？
 A. 倉田 || 楽しかったことですか？皆も年頃だからハッキリ言っちゃうけど、
 || 今、僕はね 32 歳ですけど、20 代の後半の時には彼女・恋人がいました。
 || その人と 2 人で旅行に行ったのが一番楽しかったです。
- Q 2. 生徒 J さん || 今現在、恋人はいますか？
 A. 倉田 || 今はいません。悲しいですね。まあ、これから頑張ります。
 会場 || (笑)
- Q 3. 生徒 K さん || こういう質問をしていいのかと思ったんですけど、もし障碍が無かったら何をしたいですか？
 A. 倉田 || ああ、五体満足だったらって話ですよ。何をやりたいのかねえ。
 || 車を運転したいですね。全国を車に乗って走り回りたいです。
- Q 4. 生徒 L 君 || 倉田さんが一番誇りに思うことは何ですか？
 A. 倉田 || 誇りに思うこと？やっぱり「ウイズ エブリワン」を創ったことかな。
 || あなたは何か誇りに思うことがありますか？
 L 君 ||
 倉田 || まだ、わかんないかな。じゃあね、これから頑張ってください。
- Q 5. 生徒 M さん || 毎日、自分でしてる習慣はありますか？
 A. 倉田 || いやあ、特にこだわってないですよ。ただ、毎日ね、1 日 1 日を大切に過ごさせてもらってます。
 || あなたは毎日何かやってるの？
 M さん || 特に無いんですけど、部活動を……。バドミントンです。
 倉田 || バドミントン？大変ですか？
 M さん || はい、大変です。
 倉田 || そう、頑張ってください。
 M さん || (笑) はい。

- Q 6. 生徒N君 || あの、僕の趣味は「機械の分解」なんですけど、倉田さんの趣味は何ですか？
- A. 倉田 || 趣味？ホームページ（5 ページ参照）を創ることです。
|| インターネット出来る人は見て下さい。
|| えっと、君の趣味は？
- N君 || 「機械の分解」です。
- 倉田 || ああ、そうか。「機械の分解」ってどんなことをするの？
- N君 || テレビとか・・・。
- 倉田 || え～？どっかから拾ってくるの？
- 会場 || （笑）
- N君 || いや、家にあるのを・・・。
- 倉田 || え～？でも、家でテレビ見るんでしょ？
- N君 || 一応分解して、また直せるんで・・・。
- 倉田 || へえ・・・、それで直せるんだ。凄いねえ。将来は修理工か、エンジニアになるの？
- N君 || 一応、今探してるんですけど。
- 倉田 || 僕もそういうのには興味があるんで、手が使えたら分解とかやってみたいね。面白いね。
- N君 || ありがとうございます。
- 倉田 || そういえば言うのを忘れてたんですけど、明日の読売新聞（37 ページ参照）を見てください。僕、載りますんで。
- 会場 || おお。（どよめき・拍手）

==== 質疑応答終了 ====



越智中の生徒さんの感想

講演終了後、越智中の生徒さんが一生懸命、感想文を書いてくれました。そのほんの一部ですが、ご紹介します。

ここに載せきれなかった感想文は、ウィズ エブリワンのホームページ（36 ページ参照）でご覧になれます。

なお、ホームページ掲載分の感想文は忙しい学校行事の間をぬって、越智中の生徒さん達が入力してくれました。

この場をお借りして深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

（注）明らかな誤字・脱字は訂正しましたが、原則として原文をそのまま掲載させていただきました。

————— ウィズ エブリワン

（1） 「倉田さんに教わること」

倉田さんのお話しは、とてもおもしろくてためになりました。倉田さんが障害者だとはとても思えませんでした。わたしが今まで持っていた障害者のイメージというと、言葉がおぼつかなく、人の手を借りなければ生活できない人、というイメージしかありませんでした。けれど、障害を持っているけれど元気に生活している人がたくさんいることを知り、前に思っていたイメージはなくなりました。今回の倉田さんのような、逆にわたしたちの方がいろいろなことを教わるような人もいるんだということも知りました。倉田さんは学校での好きな授業、嫌いな授業のことなどを質問してくれたり、先生方もまじえた楽しいトークをしてくれたりと、わたしたちを楽しませていただきました。倉田さんの障害者ということを感じさせない元気を少し見習おうと思いました。

1年 女子 A・Nさん

(2) 「ふれあいトーク」

倉田さんは手足が動かず、社会全体から見れば「障害者」の人です。小中高と養護学校を卒業し、今はウィズ エブリワンという団体を設立したりしています。倉田さんがトークをするため体育館の中央に出てきた時、わたしは正直に言ってとてもびっくりしました。こういう重度の障害を持つ人をみたのは初めてで、見た目もずいぶん、わたしたちと違うように思えたからです。スピーチが始まり、倉田さんはたくさんのことを次から次へと、簡単だけどとても心によく残る言葉で話してくださいました。中でもこんな言葉が、一番印象に残りました。「にがてなものは、どうしてそうなったのか、考えてみよう。」こんな言葉だったと思います。わたしはにがてなものをたださけるばかりで、倉田さんの言葉のようなことは考えてもいませんでした。倉田さんや他のハンデを持っている人たちを「障害者」の一言でまとめていることにその時疑問に思いました。倉田さんは体に障害をもっています。けれど心は、わたしたちの気づかないようなことを教えてくれる、あたたかいものだと思います。

1年 女子 Y・Sさん

(3) 「倉田さんへ」

ぼくは、今回の話を聞いてみて、やっぱり福祉に関心を今までよりはだいぶもてるようになりました。一番最初に見て、外見だけで性格など中身までかってに想ぞうしてしまいました。しかし、話を聞いてみて、自分達と同じ考え方をしていたりして、正じきなところおどろきもしました。でもうれしかったです。倉田さんの人生などを聞いて、がんばっていた話を聞いて、自分の中でがんばりたいと思いました。

同じ人だから、やっぱり人としてつき合ってほしい。

食べる、着替えるなどのことができない苦しみはすごい苦しみだったと思う。自分がもしも倉田さんと同じ道を歩んでいたらとちゅうでぎ折していたと思う。でも倉田さんは必しに生きた。ぼくもそんな倉田さんを見習いたいです。

1年 男子 K・Mくん

(4) 「笑顔」

私はびっくりした。彼は幸せそうに笑っていたからだ。九月十八日、ふれあいトークという形で、倉田知典さんという人を知った。車イスに乗っているということで私は直感で「かわいそうだなあ。」と思った。でも実際には違うみたいだった。すごく一生懸命になって、私達に色々伝えようとしてくれた。最後には、ウィズ エブリワンの話を聞いてすごく照れくさそうに、そして幸せそうに笑っていた。障害者の人は、きっとつらいことがたくさんあると思うけど、それ以上にいろんな事を知るのかなと思った。

2年 女子 S・Kさん

(5) 「倉田さんの話を聞いて、考えたこと」

中学校に入れなかった倉田さんが、中学校で話をしにくる。おかしな話だ。私はそう思った。倉田さんはたまたま障害者に生まれた。それだけで義務教育を受けられなかったのに、その義務教育の場所で私たちに語りかけている。私は今まで学校に来ることも、ごはんを食べることも、ごくあたり前な、普通のことと思っていた。それは、私がつたまたま健常者に生まれたからこそできるのだ。しかし、障害者の倉田さんにはそれができない。私は、このごく普通のこと、しあわせなのかな、と思った。私の近所にも、障害を持った人がいる。たまにあいさつをするのだが、最初はとまどった。でもこれからは、障害者ということに気にせず、接することができたらいいな、と思う。

2年 女子 H・Tさん

(6) 「友達がいるということ」

今年のふれあいトークは去年とは違い、講師の先生からの質問などがあり、びっくりしました。でも、本当はお互いが話し合うことを「ふれあいトーク」だと思う。そういう意味では、とてもいい会になったと思う。講師の倉田さんは、手が不自由であったために、養護学校に入学した。そのため地域に友達がいなかったという。僕は、何不自由なく生活しているため友達がいないなんてことが想像できないけど、それは本当はとっても幸せなことなんだなと改めて分かった。友達を大切にしたい。近い将来に倉田さんのように友達が少なく育ってしまう子供が少なくなるようにバリアがなくなるように努力していきたい。心と心のつながりが増えたらいいと思う。倉田さんの「みんな同じ人間」という言葉がとても心に残った。

2年 男子 H・Mくん

(7) 「生きているということ」

「生きているとつらい事もあるけど、楽しい事もあるよ。」倉田さんの言葉が私の頭の中でぐるぐるとまわっていました。私は放送委員だったので、姿は見る事ができなかったけど、その分一つ一つの言葉、話にすごく実感をいただくことができました。その一つがさっきの言葉です。確かにそうだと思います。人間はなぜか、楽しいことよりもつらいことの方が強く心に残ってしまいます。私も今まではずっとそうでした。しかしあらためて考えなおすことができました。つらい事は強い心で受けとめて次へ進めるようになりたいです。だから、それを教えてくれた倉田さんに心から感しゃしたいと思いました。

3年 女子 T・Kさん

(8) 「心と心のハーモニー」

今日。ふれあいトーク「心と心のハーモニー講演会」があった。そして、倉田ともりさんの話をきいた。私は、「もし自分も障害者だったら」ということを改めて考えた。倉田さんの付きそいの方も言っていたように、私じゃとてもじゃないけど、障害という壁をのりこえられないと思う。しかし彼は、1人でそれをやってのけた。1人の人間として、私は彼を尊敬する。「僕は、手を動かさないし、中学の時は、勉強が嫌いだった。でも、僕は聞く事ができるし話もできる、目で見ることだってできる。」私は、この言葉がすごく気に入った。だって、人にはできる事もできない事もあって、それは悪い事ではないとはげまされた気がしたからだ。それは当然の事かもしれないけどなぜかうれしかった。健常者も障害者も同じ人間なのだ。私は今日、彼が不自由な体で一生懸命つむぎだした一言一言を決して忘れない。今日、彼が私に教えてくれた全てを心の中にしまっておきたい。

3年 女子 H・Tさん

(9) 「ボランティアって」

”ボランティア”ってなんだろう？なんだか頭では解っているようで、それが違うような気がする。障害者の方に私達が奉仕することと、なんとなく思っていたが、倉田さんの話を聞いて、違うことに気づいた。「嫌いな教科はなんですか？」そんなことをいきなり倉田さんに聞かれ、不思議におもった。なんでそんなことを聞くんだろう？私は数学が嫌いで苦手だが、今、このふれあいトークでそんなこと必要なんだろう？そんなことを考えていると、倉田さんが「僕は目が見えます、しゃべったり、聞くこともできます。」と言った。私達から見れば、おぼつかないしゃべり方で、一言一言を一生懸命に。それを聞いて思った。私には倉田さんに出来ないことが出来る。一人で歩き、体を自由に動かせる。だったら、倉田さんは不幸なのだろうか？いや、違う。倉田さんは講演をすることで、私には体験したことのない感動を味わい、自分の誇りをちゃんと持っている。だったら、私もある意味「障害者」なのだと思った。他の人だってそうだ。私が数学が苦手なように、嫌いな教科があったり、そして、そういった障害を倉田さんは、たまたま体で持ってしまったのだ。ボランティアって、奉仕する、しないにかかわらず、たがいに補って助け合うことなんだと、私は思った。

2年 女子 M・Wさん

「たがいに補って助け合う」 - - - これって「友達」ですよ。 「ボランティア」も一つの手段として活動し、「ボランティア」で無く友達になってくださいネ。(ウイズ エブリワン)

(10) 「心のハーモニー」

今日は、色々なことを考えました。倉田さんのお話、僕には考えられないようなことばかりでした。でも、がんばってる倉田さんはすごいなあと思いました。なんか、言葉にするのがむずかしいのですが。僕もいろいろ頑張ろうと思いました。何の不自由もなく生活できることに改めて感謝しました。人の心をうごかせるような（動かされました。）感動させられるような（感動しました。）そんな倉田さんはとても素敵だと思いました。僕も、そんなふうになれたらいいなあ。いろいろ、頑張ってくださいね！！（また新聞の倉田さんの記事のコピーも見ました。『碍』…なるほどなあと思いました。読売新聞の記事を見てとても倉田さん かつこよかったです。僕は、倉田さんはとても素敵な大人だと思います。テレビのニュースとかで犯罪がおきて…とかゆうのを見ると、あまりよくない大人が沢山いるんだな…と思います。けれど倉田さんはとても素敵だと思います。そして、僕もそうなりたいです。最後にボランティアは いらない、皆仲間になれたら良いという倉田さんの言葉、一番大切だし、そんな世の中に是非なって欲しいです。）

3年 男子 匿名くんからのメール

掲載にあたり、若干、短くまとめました。(ウィズ エブリワン)

感想文を書ってくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。
残念ですが、プライバシーを守るため、本書及びホームページでの公開を控えさせてもらった文章もありました。ごめんなさい。
皆さんの感想文は、ウィズ エブリワンの財産として大切にさせていただきます。

<アンケートのお願い>

この講演録をお読みいただき、ありがとうございました。
もし、宜しかったらぜひ添付のアンケート用紙にお答えの上、
ウィズ エブリワン理事長・倉田知典あて（5 ページ参照）、郵送又 **e-mail** でお送り下さい。
（申し訳ありませんが、アンケートのFAXでの返信はご遠慮ください。
アンケート結果は無記名でホームページ等に掲載させて頂く事があります。）
より一層わかりやすく、充実した講演を行うための参考にさせていただきます。

また、ウィズ エブリワンへのお問い合わせは事務局長・早崎渉（36 ページ参照）まで、お寄せください。



- 沿革：1991（平成3）年、倉田知典を会長に12名でスタートした任意の市民グループ。
2002（平成14）年8月、特定非営利活動（NPO）法人として新たに出発。
（NPO法人 成立時 4県1都 会員数160名）
- 基本方針：全ての人々を対象に障害・健常の枠を取り、互いに欠点を補い長所を尊重しあう、
微笑みあふれる「心のハーモニー」社会を理念に、ボランティアで無い友達など
作りを広める。

◎メンバー大募集中！健常の人 歓迎！（お問い合わせ 36 ページ参照）

■ 活動内容：

(1) 月1回の定例会で、レクリエーション・小旅行・宿泊イベント等を開催。

▼ 2002（平成14）年度活動実績（一部抜粋）

月	活動内容	活動場所（行先）
5	いちご狩り	いちご農園（市原市）
6	皆で遊ぼう♪ツアー	葛西臨海公園（東京都）
7	体験調査活動（※）	千葉県こどもの国（市原市）
8	バーベキュー・花火大会	海釣公園（市原市）
9	体験調査活動（※）	東京ディズニーシー（浦安市）
10	交流会	上野動物公園（東京都）
12	温泉宿泊ツアー	塩原温泉（栃木県）

（※）体験調査活動とは —————

活動場所で楽しみながら実体験を通じて、不自由な人にとって改善してほしい点（サービス・設備等）を施設側に提案する活動。
サービス・設備改善実績多数。

(2) 地域情報紙 シティライフ市原版（新聞折込）にて会員の声を紹介。

「みんなで生きる」（1999.1.1号～）月1回記事連載。（39～41 ページ参照）



月に1度の定例会は
様々な個性が集い、
友情を育む出会いの場。
← 2002年5月
市原市内のいちご農園
にて。

(3) 以下のような所に講師を派遣。

	内 容	主 催 団 体
1	福祉・医療教育の授業	小・中・高等学校、大学、専門学校 等
2	福祉・医療に関する研修・講習会	各関係機関・法人・団体 等

▶ 主な講演内容

(a) 体の不自由な人たちの、日常生活体験談

(どんな風に暮らし、社会についてどのように考えているのか 等)

(b) 車椅子の介添え指導講習

(c) その他、体の不自由な人に対する介添え指導講習

※手前味噌になりますが、「当事者の実体験・生の声、意外な常識の本質がわかった」等と各方面でご好評をいただいています。

▶ 講師派遣、承ります。どこへでもお伺い致します。

講師派遣に関するお問い合わせ・お申し込みは、
ウィズ エブリワン理事長・倉田知典（連絡先は5ページ参照）まで、
お気軽にどうぞ。

▼ウィズ エブリワン講師派遣活動実績（1）

年	No.	内 容	主 催 団 体
2001 (平成13) 年度	1	社会福祉行政職員研修 (第1次)及び(第2次)	社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
	2	身体障害者・児施設職員 新任者研修	
	3	身体・知的障害者・児 福祉行政担当者職員研修	
	4	高校生ボランティア 体験セミナー	社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会
	5	社会人ことはじめセミナー	
	6	ガイドヘルパー養成講座	習志野市役所
	7	ボランティア研修会	(財)千葉県 肢体不自由児協会
	8	「障害者の職業と現状」	市原ロータリークラブ
	9	「30周年記念行事」	社会福祉法人 九十九会

▼ウィズ エブリワン講師派遣活動実績（2）

年	No.	内 容	主 催 団 体
2002 (平成 14) 年度	1	千葉県東葛飾地域 障害福祉講座	千葉県庁総務部 東葛飾支庁
	2	ガイドヘルパー養成講座	習志野市役所
	3	福祉学科 地域介護福祉専攻 1年生 「障害者福祉論」	植草学園短期大学
	4	看護学科 1年生 「社会福祉論」	帝京平成短期大学
	5	ふれあいトーク（全校生徒・職員） 「心と心のハーモニー」について	千葉市立越智中学校
	6	1年生対象 総合学習 「福祉」について	市原市立南総中学校
	7	市原市国分寺台地区 学校・家庭・地域を結ぶ集会 「心のハーモニー」	地域の中学生をともに 育てる会 (市原市立国分寺台中と 国分寺台西中の PTA合同)

■ 活動協賛企業

- ジェフ市原
- 市原よみうり
- シティライフ（株）
- 乙井（株）ネットポート
- （株）SKネット
- （株）つぼ八姉ヶ崎店

- 定例会及びこの講演録に関するお問い合わせは下記にお願いします。

ウィズ エブリワン事務局

〒290-0023 千葉県市原市惣社4-11-14

E-MAIL eve-officel@mail.goo.ne.jp

◆理事・事務局長 早崎 渉

■ ウィズ エブリワンWEB <http://www2.nport.ne.jp/we>



「障碍、超えて、友人作りを

倉田 知典さん 32 (市原市・N.P.O.法人「ウイズ エブリワン」理事長)



「お互いに人として付き合えることが大事」と語る倉田さん

障碍ばりを持つ人、持たない人という枠を取り払い、互いに対等で個性ある人として尊重し、楽しみ支え合う友達づくりを進めている。NPO法人として先月、発足した。障碍は決して「害」ではないとの思いから、妨げの意の「碍」の文字を使う。小旅行やパーベキューなどのイベント活動のほか、福祉や医療教育に関する講師派遣を行っている。

自身は八か月の未熟児で生まれたため、全面介添えを要する肢体不自由になり、九歳までは寝たきりだった。高等部まで過ごした養護学校では地域との交流が何もなかった。卒業後、友達が欲しくてボランティア団体に参加したものの、障碍者と健常者の交流イベントでは盛り上がる

ものの、それ以上の個人的な付き合いに発展せず失望した。

「行事の時だけの付き合いは良くない。ボランティアとか障碍者といった考え方をやめよう」

十一年前に十二人で、本当の友達づくりを最大の目的に任意団体としてスタート。役所に福祉向上の要望書を提出したりもした。やがて講演の依頼が来るようになった。講演では「本気で付き合える仲間がいますか」と必ず聞くようにしている。いま、会員数は百六十人を超えるまでに成長した。「これからは友達づくりに加え、まちづくりや福祉計画にメンバーを派遣し、行政とパートナーシップをとっていきたい」と力強く抱負を語った。

・この記事は、読売新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製など著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

平成14年10月6日発行

・この記事は、市原よみうりの許諾を得て転載しています。
無断で複製など著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

市原よみうり

THE ICHIHARA YOMIURI

リ ー ク の も と も の ト ーク Talk

障害、
健常とい
う心の枠
を取り除
き、互い
に人とし
て尊重し
合い、楽しい交流を活動の
中心とし、自立に向けて十
一年間仲間たちと共に活動
してきた私たちのグループ、
「ウィズ エブリワン」。

今年八月、多くの方々の
お力添えのおかげでNPO
法人となった。

障害者のグ
ループは、障
碍者の幸せと
「権利」を社会
に働きかけ、
健常者はそれを援助する―
これが一般的な定説である。
しかし、障害者に限らず
皆、心で幸せになりたいと
思うのは、すべての人に共
通する人生の目標である。
障害者が、さまざまな権
利を求めてきたことにより
近年福祉は急速に進んでき
た。福祉サービスも障害者
自身で選べる時代。

だが、サービスの産業化、
また一方、ボランティアと

障害、
健常とい
うのはその場限りの付き
合いであることも多い。
互いに継続的に心通じ合
う友情は、未だ深め合えて
いない。

友情を育てることは、実
は福祉制度を作るよりも難
しい。しかし、いつまでも権
利を求める障害者対サービ
スする側の健常者という互
いの立場をきつちりと割り
切った社会は実に寂しい。

互いに相手を思いやり心
から感謝することが、真の
友情を育てる
近道だと思っ
た。

ウィズエブ
リワンの理事
長として、こ
れからもずつ
と、友情を育てることを、最
大の目標として活動してい
きたいと思っている。

◆
ご意見・ご感想を
倉田知典宛お寄せ下さい。

HP <http://www.sz.or.jp/tawa>
E-mail chouwa@mail.goa.nc.jp

◆
題字・小出善三郎市長、
イラスト・鶴岡ひろしさん。



今年八月、多くの方々の
お力添えのおかげでNPO
法人となった。

障害者のグ
ループは、障
碍者の幸せと
「権利」を社会
に働きかけ、
健常者はそれを援助する―
これが一般的な定説である。
しかし、障害者に限らず
皆、心で幸せになりたいと
思うのは、すべての人に共
通する人生の目標である。
障害者が、さまざまな権
利を求めてきたことにより
近年福祉は急速に進んでき
た。福祉サービスも障害者
自身で選べる時代。

だが、サービスの産業化、
また一方、ボランティアと

障害、
健常とい
うのはその場限りの付き
合いであることも多い。
互いに継続的に心通じ合
う友情は、未だ深め合えて
いない。

友情を育てることは、実
は福祉制度を作るよりも難
しい。しかし、いつまでも権
利を求める障害者対サービ
スする側の健常者という互
いの立場をきつちりと割り
切った社会は実に寂しい。

互いに相手を思いやり心
から感謝することが、真の
友情を育てる
近道だと思っ
た。

ウィズエブ
リワンの理事
長として、こ
れからもずつ
と、友情を育てることを、最
大の目標として活動してい
きたいと思っている。

◆
ご意見・ご感想を
倉田知典宛お寄せ下さい。

HP <http://www.sz.or.jp/tawa>
E-mail chouwa@mail.goa.nc.jp

◆
題字・小出善三郎市長、
イラスト・鶴岡ひろしさん。

※地域情報紙「シティライフ」市原版 2002年9月7日掲載記事です。

● 2002年9月7日(土)市原版

みんなで生きる

No.63

特定非営利活動法人 **ウィズエブリワン**
理事長 **倉田 知典** (32)

人情あふれる 絆を結ぼう



愛犬の「ユー」と
とでしよう。講師
活動においても
「学ぶ」で無く、
楽しく語りあう
『心の絆』の輪を
広げるきっかけに
したいと思ってい
ます。真の自立は
『心の絆』を結び
あつことだと思ひ
ます。互いの良い
ところを自然に見
ることができ、感
謝しあい、相手の
足りぬところを補
いあう。そんな輪
が広がれば、自身
の良い個性が発揮
できて、ステキな
社会になります。

私は、余介添えを要す肢体不自由です。いつも多くの方の心を笑顔にしたいと夢を持ちつつ、年頃の私、一方では恋人が出来ないのが悩みです。ハイ(苦笑)。

発足11年目。おかげさまでエブリワンはNPO法人となり、皆様には心より感謝しています。私の活動のひとつとして、県内外の福祉系の関係機関、大学等にて講師活動をさせていたいです。11年の間に時代は変化し、福祉も向上していると肌で感じます。聴講生の感想は「就職する前に通っていた福祉大学でも障害者の講師を招いていたが、よく聞く話は障害者権利はあたり前というところだった。でも、倉田さんの話は多くの人の心をわくわくといふこと。その発想に感動した」。

「ボランティアをしている。これまで、障害者と仲間としてふれて来たつもりだったが、今回倉田さんの話を聞いて、個人的に本音で話せる友達がないことに気付いた。今までは自己満足だと思っ

たというものが多いいです。物理的なものは向上しても、大切な人々の『心の絆』は深めあえていないと私は思っています。最近は、健康者同士でも真の友達が出来ないと悩んでいる人が多いいようです。福祉サービシが増える反面、割り切った付き合いしかできない環境になりつつあると感じます。『心の絆』を結ぶ場が減るとは、人情と人間らしさを失うこと。タマシイのない社会は寂しい限りです。今回エブリワンはNPO法人になりましたが、法人という公的サービシも無ければ、人々全員の立場、ジャンル、枠もありません。個性ある友達作りの場『心のハーモニー』を奏でることを目的とした会です。

今後エブリワンとみなさんの交流は、さらに盛んになるこ

ウィズエブリワン メンバー募集！
健康者大歓迎

レクリエーション・小旅行・食卓会・福祉等活動を通し、ボランティアでない仲間作りの楽しい交流会、年輪、経験、地域問わずどなたでも参加できます。

■活動場所 千葉県内・外
■連絡先 090-5327-2237 (担当/奥倉) JEFUNITED
http://www2.nport.ne.jp/we
■E-mail eve630@mail.goo.ne.jp 関東ウィズエブリワン

※福祉等教育授業・講習会等への講師派遣承ります

- 日時 10月13日(日)
- 場所 上野動物公園周辺
- 各企業、団体または個人等から寄付金を募集しています
- 郵便振込 記号 10540 番号 5881425671
- 名義 特定非営利活動法人 ウィズエブリワン

・この記事は、シティライフ(株)の許諾を得て転載しています。無断で複製など著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

会員の声

～「みんなで生きる」(地域情報紙 シティライフ連載)

※この記事は、シティライフ(株)の許諾を得て転載しています。
無断で複製など著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

シティライフ 2002年11月2日は市原版

みんなで生きる

No.66

特定非営利活動法人 **ウィズエブリワン**
岩本 靖博 (34)



処理の仕事をするエブリワンの仲間と接している私は、朝し、何かを「する」ので早くから深夜まなく、感謝して活動を「させていたな」と言っています。自分から多くの人と積極的に関わりあう時間も少なく、切実に気が付き、それを心掛けています。いま、真の友も増え、楽しみながら心温かい会話に充実した喜びを感じています。人生自分ひとりで生きていくのでなく、多くの人が活動に参加していることに生かされていること。そして、自分自身の可能性が広がりに、人生に自信が持てるようになってきました。

私がエブリワンに出会ったのは数年前。シティライフのステキな記事がきっかけでした。以前へルパー2級の資格を取得するため、福祉施設へ実習に行ったことがありまして。心むお年寄りとの笑顔のふれ合いから、ますます福祉社に関心を持っていました。そんな理由から「みんなで生きる」は毎回読んでいた。最初はボランティアサークルだと思っ

感謝し合う中で人は前進する

ていましたが、毎月読むうちにエブリワンは福祉ボランティアでは無く、互いに友誼作りを進める場であることが分かりました。文面からは、生きることの大切さが伝わってきて、皆輝きのある充実した人生を送っていると思えました。私は今まで感じたことのない新鮮な思いに満ち、エブリワンに大変興味を感じていました。

私は五体満足です。でも数カ月間、精神的に落ち込んでいました。情報と歩んでい

ウィズエブリワン メンバー募集!
健康者大歓迎
レクリエーション・小旅行・食卓会・福祉等活動を通し、ボランティアでない仲間作りの楽しい交流会、年齢、経験、地域問わずどなたでも参加できます。

■活動場所 千葉県内・外
■連絡先 ☎090-5327-2237 (担当/奥倉) JEFUNITED
■web http://www2.nport.ne.jp/we
■E-mail eve630@mail.goo.ne.jp

※福祉等教育授業・講習会等への講師派遣承ります

みんなで生きる No.67

特定非営利活動法人

ウィズエブリワン
福野 加奈子 (22)



私は、東京平成大学で福祉情報学を学ぶ学生です。進路に福祉を選んだのは、不登校になった中学生のとき、私を精神的に支えてくれたカウンセラーの先生の存在がありました。

今考えると、問題は自分自身にあったように思います。自分が相手とのように思われていたのか気になり、友だちのストレートな言い方がとても怖くて、次第に学校に行けなくなりました。最初、周囲は私を説教しました。

が、そのうち私を「互いを認めることの大切さ」を理解して

くれるようになりました。両親、学校の先生にはとても感謝しています。不登校は卒業するまで続き、私は児童相談所に通っていました。そこで出会ったのが私を全面的に受け入れてくれたカウンセラーの児童心理士の先生でした。

その後、先生のすすめもあって私は定時制の高校に進学しました。そこには私と同じように中学時代つまづいた子もいて、とてもアットホームな雰囲気でした。理解しあえる仲間もたくさんいました。昼間のアルバイトも私にとっては、大切な社会勉強でした。同世代と話すのが苦手な私は、あまり人と会うことのない製菓業を選んで働いていました。ある時お弁当屋さんに販売を手伝うことになりました。学生が多い街では同年代と話す機会も多く、次第に環境にも慣れて以前のように意識する「自分」もなくなっていました。

そんな高校生活を送る中で、今度は自分が悩んでいる人の助

けになりたいと思うようになります。福祉を目指しました。今年の夏は、希望して知的障害の施設で研修しました。そこで私が学んだことは、相手を理解するためには、専門知識の有無ではなく、ある期間を共に過ごすことの大切さだということでした。それは、障害があるとかないかではなく、人対人なのだと思います。

親を離れての学生生活も3年目。これまで、様々なボランティア活動に参加して来ました。多くの場合が、1回限りの出会いに終わってしまうボランティアでした。今年2月から参加しているエブリワンには、相手を理解するのに必要な継続的な友だち関係があります。自分たちの存在を外に向けて発信する前向きな姿勢があります。

不登校の5年間、私は、私に

ウィズエブリワン メンバー募集!
健常者大歓迎

レクリエーション・小旅行・食事会・福祉等活動を通し、ボランティアでない仲間作りの楽しい交流会、年齢、経歴、地域問わずどなたでも参加できます。

■活動場所 千葉県内・外
■連絡先 ☎090-5327-2237 (担当/奥倉)
■web <http://www2.nport.ne.jp>
■E-mail eve630@mail.goo.ne.jp 募集シブコイデジナル事務局

みんなで生きる No.68

特定非営利活動法人

ウィズエブリワン
明石 麻衣子 (24)



私がエブリワンに参加するきっかけとなったのは、会の窓口になっていた小倉浩さんが、亡くなった事を告げるホームページの記事でした。彼には一度も会ったことはありませんでしたが、エブリワンの問い合わせでメールの交換をしていました。小倉さんはとても丁寧に返事をくださいました。それが途絶え、気になってホームページを覗いたのです。記事から、私と同じ重症障害を持つ彼の生き方を知り、私自身の中でその生を大切にしたいと思いました。

私は、8歳の時、若年性関節リウマチを発病しました。歩いていけなくなりました。勿論、走っていた記憶もあります。19歳の時には背骨の疾患である胸椎症を患いました。その境界線はありません。日本た。小学生時代は、5カ所の病院に入院し、年齢も病状も様々な人と出会いや別れがありました。中学・高校は地元袖ヶ浦の学校に、養護学校には約半年間通いました。このように重度障害がありながら普通学校に通えた事、両親に感謝しています。

当時は辛い事もありましたが、社会に出ようとしてる今、それらは全て良い経験になっていると気付きました。心からわかる友達もいます。相手が障害者であれ、健常者であれ、遊んだり悩み事を相談できる友達です。自分

るのではないかと。役に立ちたいという思いもあります。放送大学で勉強し、できるだけ社会参加しています。でも実際問題、全面介助が必要ですし、特注の電動車いすを使用するために外出時にはかなり困難があります。障害を持っていても、笑って泣いて怒ってまた笑って、人間らしく生きていく気持ちが大切だと思っています。「障害があるから」と逃げるのは簡単だけれど、そうならたぐりありません。個性が重んじられる時代です。強い意志があれば、その人らしく生きていける社会だと思います。私の夢はカウンセラーになること。前が見えず絶望することもありますが、上手くいかなくても動いてみると必ず手掛かりを見いだすことが出来ま

2003年1月1日(元旦)市原版 ⑧

8歳の時、若年性関節リウマチを発病しました。

自分らしい生き方をみつけるために

踏み出して行きたいと思っています。8歳まで健常者だった私。今は重度障害者。私の中で、その境界線はありません。日本人である前に人間であるのと同じように、いつまでたっても私は私なのです。支えてくださっている全ての人に感謝しています。

体と相
談し
て、一
歩一歩

仲間づくりの輪広げ

NPO法人を取得

市原市の「ウィズ エブリワン」

市原市を中心に幅広い交流活動を進めている「ウィズ エブリワン」(倉田知典理事長、会員約百六十人)が今月六日、正式にNPO(特定非営利活動)法人を取得した。健常者や障害(がい)者、ボランティアなどの枠を取り払い、

「対等」を理念に

すべてが対等の仲間づくりを基本理念に、テーマの「心のハーモニー社会」実現を目指しており、「これからも定例会や交流会で仲間の輪を広げ、行政施策への参画などを積極的に実現していきたい」と話している。



NPO法人を取得した「ウィズ エブリワン」のメンバー

「ウィズ エブリワン」は十一年前の九二年六月、市原市を中心に十二人の有志でスタートした。当初から健常者や障害者、さらにボランティアなどの枠を取り払い、すべての人々が対等で個性ある人間として尊重し合い、交流していくグループとして友達作りを進めてきた。

「障害者」ではなく、障害者「の用語にとどまるのもこうした理念からまたこれまで通り仲間づくりで、倉田理事長は「しゅがいがい」は本人にとって興味のある人は気軽に「妨げ」になっても他人参加してほしい」と話しを「書」してはおらず、

「邪魔なもの」という意味がある「書」は使うべきではないはずと話す。この十一年間、毎月

例会や講習会のほかレクリエーション、小旅行、宿泊キャンプ、市原のサッカー観戦など活発に行動。さらにHPなどを使って、テーマとしている「心のハーモニー社会」の実現を呼び掛けるなど徐々に仲間の輪が広がり、現在は二郡四県・百六十人の仲間を数える。行政へのアプローチや提案にも積極的で、ハンディキャップ体験を開催し、駅へのエスカラー設置などを実現。また人にやさしいまちづくりの提案、福祉マップの制作なども行ってきた。

今回のNPO法人の認定取得に当たっては昨年四月から準備を進め、ことし四月に法人を設立。五月に県に申請し、今月六日正式に登録された。倉田理事長は「これまでの任意団体では限界のあった行政施策への参画や学校、企業、団体などが主催する福祉関係の授業、講習などに講師を派遣していきたい。

・この記事は、千葉日報社の許諾を得て転載しています。無断で複製など著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

同会の事務局は〒290-0023市原市惣社四ノ一ノ四、電話・FAXは0436-21-9825。WEB <http://www.2npoport.ncjpw.com>

編集後記

11年前、ウィズ エブリワンの活動を始めた時は、何もかもが手探りでしたが、「みんな同じ人間」という思いを持ったメンバーが集まっていました。その思いは、活動が続ける中で少しずつ広がり、今日に至っています。11年の間には、活動の停滞時期もありました。でも「同じ人間」として話し合うことができた結果、様々な危機も乗り越えることができました。

今回の「ふれあいトーク」は、これからの時代を担う中学生の皆さんに、一人の人間としての倉田知典理事長を感じてもらえたと思います。講演録の中に「苦手な分野は『手が使えない』こと」とありますが、障碍は「個性」と考えられるのではないのでしょうか。みんながお互いの「個性」を尊重し、活かして付き合っていく世の中が来れば、私たちウィズ エブリワンの活動は、あたりまえのものになると思います。この講演録を通して「個性」豊かな人々の付き合いが少しでも広がって行くことができれば、こんな嬉しいことはありません。

最後に、本書への無償での記事転載をご快諾くださった読売新聞、市原よみうり、シティライフ、千葉日報の皆様に厚く御礼申し上げます。

そして、本書の編集にあたり、ご指導、ご助言いただいた地域情報紙 シティライフ（株）のライター・国安京子さんに感謝の意を表すとともに、制作作業に携わったスタッフの労をねぎらい、編集後記と致します。

（ウィズ エブリワン事務局長 早崎渉）

この講演録を読まれ、ウィズ エブリワンの趣旨に賛同していただける方からの寄付金を募集しています。法人・団体・個人を問いません。金額はいくらでも構いません。会運営に役立たせていただきます。ご協力くださる方は下記へお振込みください。よろしくお願いします。

郵便振込	・記号	1 0 5 4 0
	・番号	5 8 1 4 2 8 7 1
	・名義	特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン

■制作 特定非営利活動法人 ウィズ エブリワン

<制作スタッフ>

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|-----------|
| ●発行人 | 早崎渉（事務局長） | ●デザイン（表紙・裏表紙） | 倉田知典（理事長） |
| ●編集 | 奥倉康光（事務局） | ●イラスト（本文） | 関美奈子（事務局） |
| ●校正 | 岩本靖博（事務局） | | |
| ●文字入力 | 菊地美奈子（事務局）、菅野康彦（イベント部）、渡辺秀幸（ハーモニー部） | | |

アンケート

この度は『心と心のハーモニー』一倉田知典講演録」をお読み頂き、本当にありがとうございます。

特定非営利活動法人 ウィズ エブリワンの講師派遣活動を更に発展させるため、皆さんの御意見を参考にさせていただきます。

アンケートへのご協力をよろしくお願い致します。

(送付先は本書5ページをご参照下さい。)

メールでお答え頂ける方は chouwa@mail.goo.ne.jp まで)

Q1・この講演録は読みやすかったですか。

- (A) 読みやすかった (B) 読みにくかった (C) どちらともいえない

Q2・Q1で「読みにくかった」と答えた方にお聞きします。読みにくかった理由は何ですか。

- (A) 字が小さすぎる (B) 字が多すぎる (C) 印刷が汚い
(D) その他 ()

Q3・講演録の内容はわかりやすかったですか。

- (A) とてもわかりづらい (B) わかりづらい (C) わかる
(D) よくわかる (E) どちらともいえない

Q4・Q3で「とてもわかりづらい」「わかりづらい」と答えた方にお聞きします。

- (1) わかりづらかった所を教えてください。「○ページの上から○行目」とお書き下さい。 ()
(2) 「わかりづらい」理由を教えてください。
()

Q5・「障害」という字をどう思いますか。

- (A) これから使っていきたい (B) 使いたくない (C) どちらともいえない

Q6・Q5で「使いたくない」と答えた方にお聞きします。理由を教えてください。

- (A) 学校で習わないから (B) 「障害」の字に慣れているから
(C) 害と碍の違いが分からないから (D) 周りの人が使わないから
(E) なんとなく (F) その他 ()

Q 7・最も印象に残った倉田理事長の言葉は何ですか。

()

Q 8・倉田理事長の講演を「読んだ」感想を書いてください。

()

Q 9・講演録に掲載された生徒さんの感想文を読んで感じたことを書いて下さい。

()

Q10・もし、将来、倉田理事長の講演を聞く機会があったら。

(A) 聞きたい (B) 聞きたくない (C) どちらともいえない

Q11・Q10で「聞きたい」と答えた方にお聞きします。

どんなテーマについて詳しく聞いてみたいですか。

(A) 倉田理事長の生い立ち・今の私生活 (B) 心のハーモニーについて
(C) 友達等との触れ合い方について (D) 福祉や社会の問題等について
(E) ボランティアの問題等について
(F) その他 ()

Q12・倉田理事長、またはウィズ エブリワンへのご意見がありましたら書いて下さい。

()

性別	男・女	年齢	歳
----	-----	----	---

▼ ご協力ありがとうございました

2003年3月1日

発行

特定非営利活動法人

ウィズ エブリワン

<http://www.skz.or.jp/taiwa>

見かけは不自由
「心は自由」です
by とも



- ◎ メンバー募集中!!「健常の方歓迎」
- ◎ 本書の内容の無断転載は固くお断りします。
転載をご希望の方は事務局まで事前にご連絡ください。

詳しくはウィズエブリワンの紹介ページを参照してください